

日 誌 (昭和47年2月)

【国 内】

- 4日 ○米ドル直物中心相場、307円50銭と通貨調整後
はじめて新基準相場(308円)を割り込む。
- 9日 ○日米通商協議決着
- 17日 ○東証第1部旧ダウ平均株価、2,913円81銭と2,900
円の大台乗せ
- 18日 ○政府、「昭和47年度地方財政計画」を閣議了承
(「要録」参照)
○郵政省、郵便貯金預金者貸付制度の要綱を発表
- 21日 ○大蔵省、外貨集中制度の廃止を決定(関係法令
の改正をまって実施の予定、「要録」参照)
- 23日 ○大蔵省、在日外国銀行に対する円転換規制の強
化を決定(3月1日から実施)
- 24日 ○大蔵省、輸出前受け金規制の復活を決定(25日
から実施、「要録」参照)
○全国信用金庫連合会、系統預金金利の引下げを
決定(4月1日から実施、「要録」参照)
○各地証券取引所、大和ハウス等21銘柄につき、
株式信用取引委託保証金のうち新たに20%の現
金比率を設定(25日売買分から実施)
- 26日 ○政府、昭和47年度一般会計予算の減額修正を臨
時閣議で決定(「要録」参照)
○東証第1部旧ダウ平均株価、3,013円46銭と史
上初の3,000円の大台乗せ

【海 外】

- 2日 ○米国証券取引委員会(SEC)、証券取引所統合
に関する勧告案を提出
- 3日 ○EEC・米国間第3回通商交渉開催(4日に合
意成立)
○豪州、預金・貸出金利の引下げを決定(4日か
ら実施)
- 7日 ○ニクソン米大統領、対外援助法に署名
- 9日 ○米国政府、金価格引上げ法案を議会に提出
○英国政府、電力危機対処のため非常事態を宣言
○西ドイツ、中央信用委員会、貯蓄預金金利を3
月1日から0.5%引き下げることで合意
- 10日 ○ニクソン米大統領、外交教書を議会に提出
○独・仏首脳会談開催(11日まで)
- 11日 ○バングラデシュ、日本の承認を受ける
- 12日 ○南ベトナム、輸入為替レートを切下げ
- 14日 ○ニクソン米大統領、対中国輸出制限緩和を発表
○ニュージーランド、賃金・物価を凍結
- 15日 ○IMF、対米金投資および対米英金預託を清算
- 16日 ○スイス、スイス・フラン建外債等に関する規制
策を発表
- 17日 ○ニクソン米大統領、中国訪問に出発(21日北京
着)
- 英国下院第2読会、EEC加盟法案を可決
○イタリア、アンドレオッチ内閣(キリスト教民
主党の単独内閣)成立
- 19日 ○米国西海岸港湾スト、交渉妥結(21日就労)
- 20日 ○ニクソン米大統領、西海岸港湾スト規制法に署
名
- 21日 ○第5回日ソ経済合同委員会、東京で開催(24日
まで)
- 24日 ○西ドイツ、公定歩合の引下げ(4.0→3.0%、25日
実施)等短資流入抑制策を決定
○西ドイツ、為替リスク保険制度の実施を発表
○日本とモンゴル人民共和国との国交樹立に関す
る交換公文調印
- 25日 ○英国、石炭スト解決
○発展途上16か国、貿易互惠協定に調印
- 26日 ○アンドレオッチ・イタリア内閣、成立後わずか
9日で総辞職
- 27日 ○ニクソン米大統領の訪中に関する米中共同声
明、上海で発表
- 28日 ○ニクソン米大統領、帰国のため上海を出発
○レオネ・イタリア大統領、議会を解散(5月7
日総選挙の予定)